

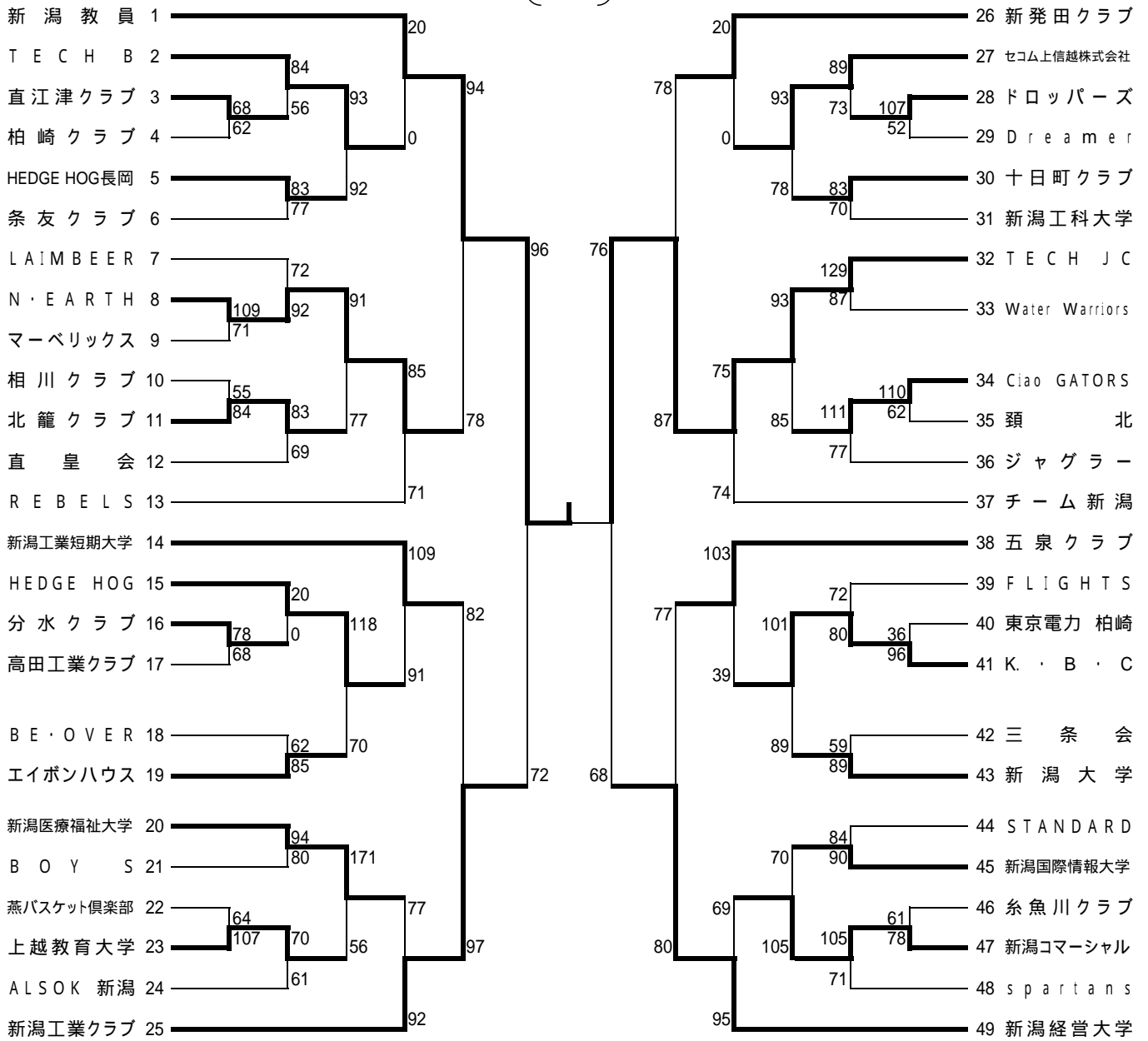
第 3 回 新潟カップバスケットボール大会

兼 国民体育大会 成年男子・女子新潟県代表選手選考会

男子の部

決勝戦
 26 - 14
 19 - 13
 21 - 13
 31 - 13

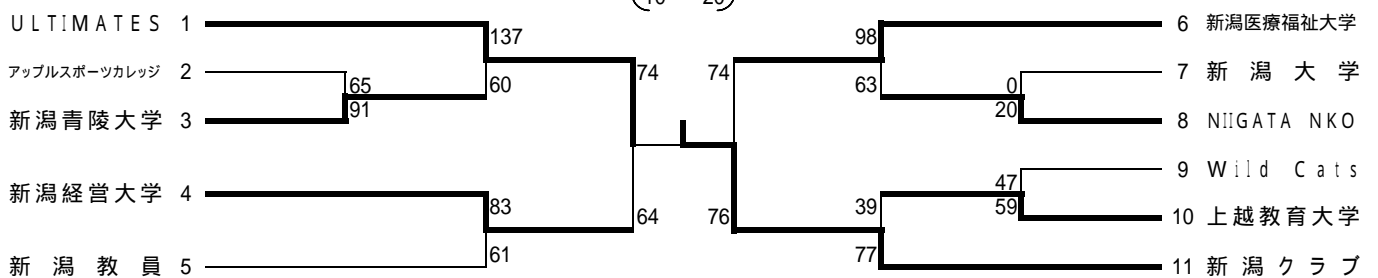
新潟教員 97 53 TECH J C



女子の部

決勝戦
 16 - 24
 18 - 17
 26 - 12
 10 - 20

ULTIMATES 70 73 新潟クラブ



第3回 新潟カップバスケットボール大会
兼 国民体育大会 成年男子・女子新潟県代表選手選考会

男子決勝結果

新潟教員 97 (26 - 14)
 (19 - 13)
 (21 - 13)
 (31 - 13) 53 TECH JC

テーブルスコア

A 新潟教員		得点	野投(本)		自由投 (本)	反 則	B TECH JC		得点	野投(本)		自由投 (本)	反 則
No	選手名		3点	2点			No	選手名		3点	2点		
4	信田	0	0	0	0	1	4	樋口	0	0	0	0	0
5	関川	7	1	2	0	0		媚山	2	0	1	0	5
6	猪又	3	0	1	1	0	6	佐藤	8	2	1	0	3
7	近藤	0	0	0	0	1	7	五十嵐					
	山口	4	0	1	2	1	8	池田	2	0	1	0	1
9	小山	4	0	2	0	0	9	清水					
10	島	0	0	0	0	1		甫仮	10	2	2	0	3
	岩崎	23	2	8	1	0	11						
	北	11	1	4	0	2		飯島	17	5	1	0	1
13	品田	0	0	0	0	0	13	内山	4	0	2	0	1
14	坂井	6	2	0	0	1	14						
	中川	9	1	2	2	0		土田	2	0	1	0	1
16	坂本	4	0	2	0	0	16	三宮	0	0	0	0	0
	堀	22	2	6	4	0	17	吉川	4	0	2	0	0
18	田中	4	0	2	0	0		白井	4	0	2	0	3
合計		97	9	30	10	7	合計		53	9	13	0	18

戦評

男子決勝は、今年度近県を制し今大会通算7連覇を目指す新潟教員(教員)と、2回戦からチーム新潟、新発田クラブ、新潟経営大学と強豪を破ってきたTechJCとの対戦となった。
第1ピリオド両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。開始早々から堀のドライブから得点、アシストとTechJCのディフェンスを翻弄。北のスティールも出て得点を重ねる。対するTechJCも中盤から甫仮、飯島のドライブ、3ポイントで応戦。しかし、教員の厳しいディフェンスにターンオーバーを重ねてしまう。終盤は教員の速攻が決まり26 - 14で教員リード。
第2ピリオドも教員のディフェンスの前にTechJCのシュートが単発に終わり、なかなか突破口を見いだせない中、教員堀、岩崎の得点が増え、徐々に点差が開く。45 - 27教員リードで前半を終える。
第3ピリオド序盤は両チームともミスが目立つ中、TechJC飯島の3ポイントなど連続8得点の活躍。教員と互角の展開に持ち込む。66 - 40で教員リードは変わらない。
最終第4ピリオドに入っても教員優位の展開は変わらず、TechJCの3ポイントも不発。再び教員が点差を広げ、97 - 53で新潟教員が大会7連覇を果たした。

第3回 新潟カップバスケットボール大会
兼 国民体育大会 成年男子・女子新潟県代表選手選考会

女子決勝結果

ULTIMATES 70

{	16	-	24
	18	-	17
	26	-	12
	10	-	20

 73 新潟クラブ

テーブルスコア

A ULTIMATES		得点	野投(本)		自由投 (本)	反 則	B 新潟クラブ		得点	野投(本)		自由投 (本)	反 則
No	選手名		3点	2点			No	選手名		3点	2点		
	高岡	12	0	5	2	3	4	原田					
5								村田	15	0	5	5	2
6	佐藤						6	古沢	26	1	9	5	0
7	高橋							林(裕)	0	0	0	0	1
	田中	4	0	2	0	3	8	根津	2	0	1	0	1
	田辺	7	0	3	1	4		丸山	9	1	3	0	0
	金田	21	1	9	0	1	10	山崎	2	0	1	0	0
11	川嶋							林(実)	9	1	2	2	4
12							12	下条					
13	斉藤							坂上	10	0	5	0	0
14							14	若松					
	宇治	22	2	7	2	3	15	小野塚					
16	村田	4	0	2	0	2	16	笠原					
17	長沢						17	斉藤					
18	山中						18	平沢					
合 計		70	3	28	5	16	合 計		73	3	26	12	8

戦 評

女子決勝は、準決勝で新潟医療福祉大学を僅差で退け、勢いに乗る新潟クラブ(新潟ク)と、同じ
く準決勝で新潟経営大学を敗り今大会三連覇を狙うULTIMATES(ULT)の顔合わせとなった。
両チームともハーフコートマンツで静かなスタート。お互いのシュートがなかなか決まらない
状態が続くが、途中出場の新潟ク 古沢が連続してバスケットカウントを沈め、24-16の新潟
クラブ8点リードで第1ピリオド終了。第2ピリオドに入るとULT 田中のアシストから 金田が
レイアップを連続して決める。対する新潟クも 古沢のゴール下、村田のジャンプシュートなど
で得点を重ね、新潟クラブリードのまま34-41で第2ピリオド終了。
第3ピリオドに入るとULTの厳しいディフェンスに会い、新潟クはノーゴールが続く。この間にULT
は速攻から得点を重ね逆転に成功。その後も 宇治のスリーポイントなどで加点し、60-53の
ULT7点リードで第4ピリオドを迎える。
第4ピリオド、新潟ク 坂上が要所でシュートを決め、同点にすると、その後両チームとも一進一退
の攻防を繰り返す。残り1分を切っても70-70の同点と試合の行方は全く分からない。
残り36秒新潟ク 古沢がゴール下のシュートをねじ込んだところでULTはタイムアウト。直後
新潟ク 林がフリースローを決め70-73。ULTは最後の望みを託し、スリーポイントを放つも
決まらずタイムアップ。新潟クラブが、国体予選としては7年ぶり、新潟カップとしては初の優勝
を飾った。